

分野	評価指標	目標値	全体評価 (令和元年～令和5年)	これまでの取り組み				
				令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全体目標	自殺死亡率 (人口10万対)	R5年11.1 R8年9.1以下	令和5年度の結果は3.5と、目標を達成しました。計画作成時と比較すると大きく減少しました。	18.3 (宮崎県17.8、全国16.1)	16.8 (宮崎県20.4、全国16.4)	11.9 (宮崎県19.6、全国16.5)	12.0 (宮崎県20.4、全国17.4)	3.5 (宮崎県21.5、全国17.3)
地域におけるネットワークの強化	日向市自殺対策推進協議会の開催	年1回		令和2年1月22日実施	未実施	書面開催	令和4年8月3日実施	令和5年7月20日実施
	日向市自殺対策庁内推進会の開催	年1回	日向市自殺対策推進協議会、日向市自殺対策庁内推進会については、新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催となった時もありましたが、年1回開催し、計画の進捗状況や各課、各団体の取組等を共有することで、連携を深めることができました。	令和2年1月22日実施	未実施	書面開催	令和4年6月28日実施	令和5年6月29日実施
	庁内関係部署が連携を円滑に行うために多分野合同研修会の開催	年1回		令和元年11月29日実施 (市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を兼ねる)	令和2年11月24日実施 (市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を兼ねる)	未実施 (市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止。)	令和4年8月22日(午前・午後)、8月25日(午前・午後)計4回実施 (市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を兼ねる)	令和5年10月24日(午前、午後)計2回実施 (市職員を対象としたゲートキーパー養成研修会を兼ねる) 令和5年6月29日に日向市自殺対策行動計画策定委員会 幹事会・作業部会の中で講演を実施し、自殺の現状や取組について共有することで、庁内関係部署の連携強化を図りました。
自殺対策を支える人材の育成	市民を対象としたゲートキーパー研修の実施	年1回 年間50人以上参加	令和2(2020)年に1回実施しましたが、その他の年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により市民を対象とした講習会等の機会が減少し、目標の達成には至りませんでした。	高齢者クラブ、いきいきサロン、高齢者学級等の際に、こころの健康等について健康教育を行いました。	健康教育等の機会を活用し実施 対象:海上保安署職員	未実施	未実施 ※健康教育にて、こころの健康に関する講話を実施したが、ゲートキーパー養成研修については実施できなかった。	未実施 ※健康教育にて、こころの健康に関する講話を実施したが、ゲートキーパー養成研修については実施できませんでした。
	関係部署・団体等を対象としたゲートキーパー研修の実施	年2回 年間100人以上参加	令和元(2019)年度から令和5年度にかけて、高齢者支援施設職員、民生委員・児童委員、区長公民館長、傾聴ボランティアスタッフ等、合計215名が研修を受講しましたが、目標の達成には至りませんでした。	令和2年1月22日実施	令和2年12月8日実施 対象:高齢者支援施設職員 地域包括支援センター職員 参加者数:10人	令和4年3月18日実施 対象:民生委員・児童委員・主任児童委員 参加者数:81人	令和4年12月8日(午前・午後)計2回実施 対象:区長公民館長、傾聴ボランティアスタッフ 参加者数:37人	令和5年10月10日 対象:食生活改善推進員 参加者数:25人 令和5年8月29日 対象:民生委員・児童委員 参加者数:35人 令和5年11月17日 対象:高齢者ボランティアスタッフ 参加者数:8人 令和5年9月8日、26日 対象:高齢者施設職員、ケアマネ、包括支援センター 参加者:19人
	市職員はゲートキーパー研修を受講	5年後までに全員受講	令和元年度から令和5年度にかけて、336名の職員が受講しましたが、目標の達成には至りませんでした。	令和元年11月29日実施 対象:市職員(会計年度職員等含む) 参加者数: (午前)36人(午後)35人 計71人	令和2年11月24日実施 対象:市職員(会計年度職員等含む) 参加者数: (午前)36人(午後)40人 計76人	未実施 (新型コロナウイルス感染症の影響で中止。)	令和4年8月22日(午前・午後)、8月25日(午前・午後)計4回実施 対象:市職員(会計年度職員等含む) 参加者数:131人	令和5年10月24日(午前、午後)計2回実施 対象:市職員(会計年度職員等含む) 参加者数:58人
市民への啓発と周知	啓発リーフレットの作成・配布	全戸配布・各関係機関等への配布	毎年、相談先一覧を掲載した「日向市こころの電話帳」を作成し、区加入世帯や市内金融機関や薬局等に配布する等、市民への周知啓発に努めました。	・こころの電話帳を作成、全世帯配布 (令和元年9月) ・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせパネル展示を実施。リーフレット等の配布を行いました。	・3月の自殺対策強化月間に合わせ、日向市こころの電話帳を全世帯配布。 ・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせパネル展示、リーフレット等の配布を行いました。	・3月の自殺対策強化月間に合わせ、日向市こころの電話帳を全世帯配布したほか、市内スーパー、コンビニ、薬局等68箇所や、乳幼児健診に来所する保護者、商工会議所の会報等様々な場面での配布を行い、周知啓発に努めました。 ・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせパネル展示、リーフレット等の配布を行いました。	・相談先一覧を掲載した「日向市こころの電話帳」を作成し、3月の自殺対策強化月間に合わせて全世帯配布したほか、市内スーパー、金融機関、コンビニ、薬局等276箇所に配布しました。 ・自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)に合わせパネル展示を市役所、図書館で実施し、リーフレット等を配布しました。 ・オール日向祭に参加し、パネル展示やリーフレット等の配布をしました。	
	担当課・団体が行うイベント等を通じての啓発の実施	少なくとも年1回	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が相次いだ年度もありましたが、年1回以上はイベント等で啓発活動を実施しました。	健康まつり、自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせたパネル展示、FMひゅうが、広報ひゅうがでの啓発を行いました。	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせたパネル展示、FMひゅうが、広報ひゅうがでの啓発を行いました。(新型コロナウイルス感染症のため、健康まつり中止)	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせたパネル展示、FMひゅうが、広報ひゅうがでの啓発を行いました。(新型コロナウイルス感染症のため、健康まつり中止)	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせたパネル展示、FMひゅうが、広報ひゅうがでの啓発を行いました。 イベントでは、「はたちのつどい」において、こころの健康に関するリーフレットを配布しました。(新型コロナウイルス感染症のため、健康まつりは中止)	自殺予防週間、自殺対策強化月間に合わせたパネル展示、FMひゅうが、広報ひゅうがでの啓発を行いました。 イベントでは、「はたちのつどい」において、こころの健康に関するリーフレットを配布しました。
	あらゆる機会を通じての健康教育の実施	年10回	新型コロナウイルス感染症の影響で健康教育の機会が減少し、年2回の実施に留まり、目標の達成には至りませんでした。	高齢者クラブ、いきいきサロン、高齢者学級等の際に、こころの健康等について健康教育を行いました。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、開催中止が多かった。	新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健康教育の機会が少ない状況でした。	こころの健康についての健康教育を実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、集団健康教育の機会が少ない状況でした。 実施回数:1回 対象者:30名	健康教育の機会を活用し、こころの健康や市の自殺対策等について周知啓発を行いました。が、実施回数は2回に留まりました。 実施回数:2回 対象者数:98名
生きることへの支援	「生きることへの支援」について各担当課・団体に対し取り組み状況を確認、及び改善すべき課題を抽出し、支援体制の充実を目指します。		毎年、日向市自殺対策庁内推進会及び日向市自殺対策推進協議会を開催し、計画の進捗状況等について確認を行い、支援体制の充実を図りました。	各課事業の実施状況等について確認を行いました。	コロナ禍における自殺の状況、課題について情報共有を図りました。また、各課事業の実施状況等について、確認を行いました。	新型コロナウイルス感染症の影響で、日向市自殺対策庁内推進会議は書面開催とし、各課事業の実施状況等について、確認を行いました。	令和4年6月28日に、日向市自殺対策庁内推進会議を開催し、各課事業の実施状況等について確認を行いました。	日向市自殺対策行動計画策定委員会 幹事会を3回、作業部会を4回実施し、各課事業の実施状況等について協議を行い、第2期の日向市自殺対策行動計画に反映しました。
育い出ぬ方等への支援	「いのちを大切にす教育」の受講	児童生徒に対して年1回以上	長期休業明けなどのリスクが高まる時期に、SOSの出し方に関する教育を含めた授業等を実施し、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援を行うことができました。	各学校において、自殺予防に係る授業(SOSの出し方教育)を実施しました。	国や県からの資料を参考にしながら、自殺リスクに直面した際の対応や支援について、各学校の生徒指導主事を中心に、全職員で共通理解を図った上で、SOSの出し方について、児童生徒への周知を図りました。	日向市では、始業日の前後1週間程度を「いのちの大切さを考える週間」と設定し、命を大切にす指導を行いました。また、「宮崎県いのちの教育週間」を中心に各学校で「いのちの大切さ」について考える取組を実施しました。	小・中学校において「いのちについて考える日」を設定し、自他の命がかけがえのないものであることや、それ故に大切にしなければならないものであることを子ども達自身に改めて考えてもらえるような指導を行いました。	夏休み、冬休み、春休みの長期休業日明け前後の10日間程度を「いのちの大切さを考える期間」と定め、不登校や自殺等の未然防止に向けた積極的な支援を行い、児童生徒が安心して学校生活を送れるような取組を行いました。